

平成29年度第3回経営協議会議事要録

日 時 平成29年11月2日（木） 14時00分

場 所 KKRホテル名古屋 福寿の間

出 席 学内委員5名（欠席なし），学外委員6名（欠席0名） / 会議成立

開会14時00分

開会にあたり，議長（学長）から挨拶があった後，本日出席の委員数が確認され，会議成立が宣言された。次いで，総務課長から，配付資料の確認及び会議日程等の説明があった。

前回議事要録の確認

議事に先立ち，前回会議（平成29年度第2回）の議事要録について確認した。

報告

1. 平成30年度概算要求について

上口委員（総務・財務担当理事）から，前回の本経営協議会において概算要求事項の大枠の承認を得た後，学長による最終的な調整を行って文部科学省へ提出した標記について，文部科学省から財務省へ提出された本学関係事項の状況が，資料により報告され，以下の質疑応答があった。

○学外委員からの質疑 ●大学側の回答（以下，同様）

○施設改修に関わる部分で今回の結果を受けて，大学としてどのような評価をしているのか。

●規模の大きな要求が採択されたことや13件要求して5件採択された内容からしても，大きな成果があったと考えている。

○アクティブ・ラーニングの経費は附属学校の経費になるのか，大学の経費になるのか。

●大学の経費であり，大学の環境を整備する経費になる。

○人件費はどのような計画で進めているのか。

●第三期の中期目標で目標値を定め，その目標に向けて教員の不補充や事務組織の改組などで人件費の抑制を行っている。

2. 平成28事業年度財務諸表の承認について

上口委員（総務・財務担当理事）から，資料に基づき，平成29年8月31日付けで文部科学大臣から標記承認について通知があった旨報告があった。

なお，目的積立金については，まだ承認が下りていない旨の説明があった。

3. 平成28事業年度財務レポートについて

上口委員（総務・財務担当理事）から、標記について、決算の状況等を分かりやすく見やすく作成したこと、次いで、取組やビジョン等の掲載内容の要点が、資料により報告され、以下の質疑応答があった。

○流動比率が前年度から大きく上昇しているのはどのような要因なのか。

●企業等と会計処理の方法が違い、第二期の最後であった平成27年度と第三期の初年度である平成28年度では、平成28年度は目的積立金が発生することにより前年度から流動比率が上昇した要因となる。

○平成28年度を自己評価するとどのように考えているのか。

●目的積立金とした金額は本学の予算規模としては大きな額となることから、しっかりと管理し、合理化できた結果だと考えている。

○教育にかける費用はどのように推移しているのか。

●教育に関わる費用の中には、教育に関連する建物の改修費が含まれることから、その年度によって多少変動することとなるが、とても大切な部分の費用なので、しっかりと確保していきたいと考えている。

4. 平成29年人事院勧告について

上口委員（総務・財務担当理事）から、標記について、平成29年の国家公務員の給与等の見直し・法改正の動向を踏まえ、本学役職員の給与を改定することについて、資料により改定事項、実施時期、財源状況などの説明があり、併せて、改定に伴う学内関係規則等の改正案については別に準備中であり、国会での審議経過により、メールでの書面会議の方法による経営協議会で審議いただく場合や12月開催予定の経営協議会で審議いただくことについて説明があり、以下の質疑応答があった。

○地域手当は、どのような状況になっているのか。

●国の基準は刈谷市16%、名古屋市15%、岡崎市6%であるが、名古屋地区と刈谷地区は12%、岡崎地区は9%としており、国の基準どおりの支給ではない。

○地域手当は大学の裁量で変えられるものなのか。

●各大学で財政の状況をみながら決められるものとなっている。

5. 附属名古屋小学校への名古屋北労働基準監督署立ち入り検査の対応状況について

菅沼委員（研究・附属学校担当理事）から、資料に基づき、標記について、是正勧告書及び指導票の指摘に基づく対応として、超過勤務等手当の支給を遡及して確定し支給したこと等について報告があり、今後は、労働時間の把握・改善等を行うことになっている旨説明があり、以下の質疑応答があった。

○今後の附属学校教員の働き方改革をどのように考えているのか。

●来年4月に向けて各附属学校教員との面談を重ね、今後の働き方の検討を行っているところである。

○今後の附属学校のあり方をどのように考えているのか。

●有識者会議での意見を踏まえながら、抜本的な改革を考えているところである。

6. 「愛知教育大学奨学金 ひらく」に関する細則の制定について

中田委員（教育・学生担当理事）から、標記細則の制定理由等、資料に基づき説明があり、これを了承した。

7. 平成28年度卒業・修了生進路状況について

中田委員（教育・学生担当理事）から、それぞれの員数集計その他概況について、資料により説明があり、次いで質疑応答を行った。

○臨時教員の採用は、愛知県なのか。

●愛知県出身の入学者割合が多いので、臨時教員としても愛知県への割合が多くなっていると思われる。

8. 愛知県教育委員会との相互連携に関する協定の締結について

西淵委員（連携担当理事）から、10月30日に締結した愛知県教育委員会との協定について報告があった。

9. その他

○ 次回会議の開催日程について

議長から、次回会議は年間計画に沿って12月11日（月）から12月22日（金）までの間に開催する予定で、おって日程照会を行うこと、また、報告4にあった、平成29年人事院勧告への対応については、書面会議での開催若しくは臨時での開催の可能性もあることについて説明があった。

閉会 15時51分